

KFA NEWS

No.71 (2010 新年号)

DREAM

夢があるから強くなる

2010 年 1 月 1 日発行

熊本県サッカー協会広報誌

発行者

社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

〒 860-0831 熊本市八王寺町 9-60

096-334-5565 (平日 9 時～ 18 時)

ホームページ <http://kumamoto-fa.com/>

ルーテル、快進撃！



全国高校選手権

【帝京ルーテル学院】試合終了間際に 3 点目のゴールを決め、祝福されるルーテル学院・山本（左から 2 人目）
＝国立競技場

7 面に詳報

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年もそれぞれ立場で大きな夢に向かって確かな歩みを続けましょう。「夢は実現する、強い強ければ」の言葉を胸に進みたいものです。

6 月に FIFA ワールドカップが南アフリカで開催されます。日本代表の岡田武史監督は上位入賞を

目標に掲げています。まずは予選リーグ突破を皆で応援したいものです。

さて、一年の計を考える場合に大切な事は、過ぎし一年の検証を行うべきで、急ぎ足で平成 21 年を振り返ります。まずは 1 月 20 日（火）の日本 A 代表とイエメンのアジア予選。熊本で初めての A

社団法人 熊本県サッカー協会
会長 井 薫

代表戦、真冬の平日、そして夜の 7 時という厳しい条件下でしたが、結果は協会の総力で KK ウィング三万二千の観客席は満員の盛況でした。4 月 8 日は宇城市の JFA アカデミーの開校式。JFA 名誉総裁の高円宮妃殿下のご臨席、犬飼会長、蒲島県知事をはじめ多くの来賓を迎え、13 名の一期生



〔スポーツ振興くじ助成事業〕

賛助団体会員

株式会社 瑞恵 NPO 法人ブレイズ熊本サッカークラブ
昌和機械工業所 スキルアップスクール
九州警備保障株式会社 クーバー・コーチング
タマホーム 株式会社ジョースマイル
おべんとうのヒライ

のアカデミー生としての生活が始まりました。8月の国体の九州予選、少年男子はあわやの惜敗でしたが成年男女は完敗、他県との差を感じました。嬉しい部分では高校総体の大津高校の2年連続してのベスト3入りは、低迷する県勢の競技力の中ではひときわ光る快挙でした。その最も全国レベルに近い高校サッカー選手権の決勝戦は11月23日、大津対ルーテルで行われましたが、ルーテルが2年ぶりに出場権を獲得。組み合わせ抽選で大会初日、国立競技場の第一試合、相手は東京の帝京と決定。国立の初戦は幸運だと思います。運も実力のうち晴れの舞台での健闘を期待したいと思います。(この原稿は12月15日に書いています)。

同じ日の23日は県協会60年史の刊行祝賀会が行われました。タイトルは「蹴夢」、60年の歴史とこれからの若者に期待をかける、素晴らしい60年史が完成しました。編纂に携われた方々に心からの謝辞を申したいと思います。

そして新しい年を迎えますが、まず、大きな目標としてはJFAが2018、2022に日本開催を目指しているFIFAワールドカップです。その際の熊本における本大会の開催地としての立候補を、県

協会と県、市の行政と一緒に検討しましたが、FIFAが求める4万人収容の会場は、KKウィングに仮設、改修をするにしても膨大な経費が生じ、現在の経済情勢下では不可能という結論に達しました。そこで、2002年にベルギーを迎えました時と同様に大会前のキャンプ地として立候補をする事にいたしました。本年(2010)12月に開催国が決定します。そのために必要な準備に入る年となります。

次に、2年目に入ります、宇城アカデミーの運営サポートと施設の多くの皆さんの活用が求められます。アカデミーには須藤茂光ヘッドコーチをはじめ指導に定評のあるスタッフが居られます。各種委員会の競技力の向上や九州レベルの会議、他種目にも呼びかけスポーツ普及、強化の拠点になればと思います。

ロアッソ熊本もJ2での3年目のシーズンを迎えます。新しく元日本代表の高木琢也氏を監督に迎えました。J1昇格へのステップアップの大切な今季、皆で会場に足を運びチームを支え、応援したいものです。

JFAが勧める女子の普及、強化。キッズプログラムやフットサル、ビーチを含めた底辺及び、周辺は多くの皆さまの熱意、協力でさら

に広がりを感じます。ただ、かつて、私が県体育協会で強化を担当しました立場からも、強く提唱します国体に於ける九州予選の突破を今年の強化に於ける重要テーマとして、取り組んでいただきたいと思っています。なぜ、国体なのかを改めて理解してもらいたいのは、平成21年の新潟国体で県勢は頑張り天皇杯13位という好成績をあげ、熊本の元気を全国に示せました。沈滞した世相の今日、スポーツの持つ明るさや頑張る姿が、多くの県民の皆さまの共感を呼び元気を与えました。

その国体の県選手団にサッカーが参加できないのは、やはり淋しい部分でもあります。

過去、県協会は2度、サッカー競技に於いて総合優勝、つまり天皇杯を獲得しています。今日、九州各県のレベルがあがり、予選突破は容易ではありませんが、情熱と工夫で「サッカーを通して豊かなスポーツ文化の振興に寄与し、

人々の心身の発達と社会の発展に貢献する」とする、基本理念を形として表したいものです。

また別の視点では、各種別のトレセン活動とJFAが提唱するリーグ形式の導入で、現場を預かる指導者は、本来の自分の仕事に加えて大変多忙な環境にあるのも事実です。

一人の指導者として原点を考えると、しのぎを削るライバルに勝利するために求められるのは、他とは違う独創性にあるわけですが、忙しすぎるとそのアイディアを磨く時間さえ奪われかねません。新しい年のスタートにあたり、じっくりと自分たちらしさ、熊本らしさの確立を目指して欲しいと思います。

21世紀に入り早くも10年が過ぎ去りました。皆さんで力を合わせて熊本のサッカーの次なる10年に挑戦して行きましょう。本年もよろしくお願いいたします。



協会が60周年記念誌「蹴夢」発刊

県サッカー協会はこのほど、協会発足60年の記念誌「蹴夢(しゅうむ)」を発刊した。黎明期から県内初のプロチームとして誕生したロアッソ熊本まで取り上げている。



1947年に前身の県蹴球協会が発

足して以来、初の資料集。日本サッ

カー“育ての親”と称されるドイツ人、デットマール・クラマー氏の61年の来熊、県勢の全国大会での活躍などを紹介。当時の関係者が書いたエッセーで理解を深める構成になっている。Jリーグ千葉で活躍する巻誠一郎(大津高出身)と井会長の記念対談もある。

県協会のOB、現役でつくる編さん実行委(城塚幸雄委員長)のメンバー6人が、昨年来、初の9月から、県立図書館や熊日、学校、地域の公民館に通って資料を収集。これまで「熊本サッカーの起源」は1920年とされてき

たが、1912年に八代中(現八代高)の授業で行われた記録がみつきり、さらにさかのぼることも分かった。

城塚委員長は「資料もなく、だれも知らなかった歴史を形にした。意義のある本ができた」と話している。A4判256ページで、1冊5000円。希望者には、こん包料160円と送料着払いで販売する。同協会TEL096(334)5565。(熊日新聞から転載)

◆熊本県サッカー協会60周年記念誌編纂感謝状贈呈

城塚幸雄、山本孝明、遠山和美、藤野健一、中山重臣、今田周作、(株)城野印刷所

平成 21 年度 表彰式

平成 21 年度功労者を表彰 60 周年記念誌も披露

県サッカー協会の平成 21 年度表彰式が 11 月 23 日夕、熊本市の熊本交通センターホテルで開かれた。協会 60 周年記念誌出版祝賀会と合わせて行われ、出席者は例年になくお祝いムードの中で歓談した。

井薫会長あいさつのあと、功労者 5 人を表彰。つづいて「緒方健司賞」「日本代表選手」への表彰があった。

県協会 60 周年記念誌「蹴夢」の披露式では、出版経過報告や編纂に伴う感謝状贈呈などがあった。



〈表彰者は以下の通り〉

◆功労者表彰

上野住江 本県女子サッカーの創成期より地元校区の女子クラブ創設に携わり、26 年に及ぶ活動は女子サッカーの礎となり定着にも貢献。地域及び生涯スポーツ発展にも寄与するなど高く評価。また、協会女子副委員長、同委員長及び協会副会長として 11 年間にわたり本県女子サッカーの普及と安定に尽力。

奥村桂史 これまで女子クラブ 3 チームの運営に携わる一方、H 11 年の熊本国体までは協会女子部会長、同副部会長を務め、本県女子の活動基盤充実と競技力向上に貢献。また、九州女子リーグ総務主事や日本女子リーグ実行委員を務め、各リーグ発展に寄与。男子サッカーでも社会人チームの主務や会長を永年務め、県リーグ等の発展にも貢献。

平井智憲 10 年間の協会理事職の他、中学部会副部長、同審判長及び運営担当などを永年務め中学サッカー発展への功労が大。36 年間に及ぶ 2 級審判員等としての活動従事と同インストラクター活動は、審判技術向上と大会運営に寄与。ま

た、中学校部活動を 23 年間指導。H 6 年には錦ヶ丘中学校を全中大会ベスト 8 へ導く等、競技の普及発展に貢献。

本田慶信 20 年に亘り下益城郡協会の理事、会長を務め、現在は富合町協会会長及び熊本市協会副会長を務める。28 年間の地元中学校での外部コーチなど地域のサッカー普及振興に大きく貢献。また、現在に及ぶ審判業務従事に加え、3 級審判員インストラクターやシニア連盟審判委員長も担い、審判のレベルアップと大会の円滑な運営に尽力。

栄永徳博 水俣市協会の理事、理事長、副会長として 34 年間に亘り地域サッカーの普及振興に貢献する一方、並行して小中学生のクラブや高校部活動の指導も合わせて継続するなど、地域最大の功労者。また、地理的ハンディキャップを克服して 34 年間に及ぶ 2 級審判員等としての審判業務従事と 2 級インストラクター活動でも多大なる貢献。



◆緒方健司賞表彰

作本貴典

◆日本代表選手表彰

黒木直幸（ビーチサッカー日本代表）

上原朋也（ビーチサッカー日本代表）

大谷幸輝（U-20 日本代表）

松本大輝（U-18 日本代表）

中村公治（U-15 日本代表）

◆熊本県教育委員会表彰

山本孝明（生涯スポーツ功労者）

宇土市サッカー協会（生涯スポーツ優良団体）

◆財団法人熊本県体育協会表彰

宇野 浩（スポーツ功労者）

熊本オールドキッカーズ（スポーツ優良団体）

◆平成 21 年度全国高等学校総合体育大会 3 位入賞 熊本県立大津高等学校

Category 1

県リーグ

第 44 回県リーグ戦 1 部 熊本教員蹴友団が優勝

第 44 回県リーグ戦は、8 月 23 日に開幕して 12 月 6 日までの、5 ヶ月間を無事に終えることができた。13 日には、第 3 回代表者会議(反省会・トーナメント戦)を開催して、リーグ戦での反省・来年度に向けての貴重な話し合いの場となった。

試合結果は、1 部では熊本教員蹴友団と Well-B 熊本が勝ち点 24 で並び、得失点差で優勝が決定する、白熱したリーグ戦になった。その結果、優勝した熊本教員蹴友団は 1 月 9、10 日

に福岡で行われる九州各県リーグ大会に出場し、Kyu リーグ入りを目指す。

2 部 A では、益城 BW。2 部 B では、合志ペルナが優勝し 1 部昇格を決めた。

各地域リーグの 1 位、2 位のチームは 1 月 10 日から 24 日まで行われる、決勝トーナメント戦に出場し、2 部昇格の 4 枠を目指すこととなる。

1 月 31 日は 2 部の入れ替え、2 月 7 日は 1 部の入れ替え戦が行われる。

＝第 44 回県リーグ戦最終順位表＝

1 部順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	PK勝	PK負	敗	得	失	差
1	熊本教員団	24	9	8	0	0	1	37	10	27
2	Well-B熊本	24	9	7	1	1	0	20	9	11
3	スポーツの森大津	17	9	5	0	2	2	15	10	5
4	シマズ自動車	16	9	4	2	0	3	31	24	7
5	HONDA熊本	16	9	5	0	1	3	18	17	1
6	ダイナマツ	15	9	3	3	0	3	18	13	5
7	マリナーゴールド	10	9	3	0	1	5	16	16	0
8	アスティールFC	7	9	2	0	1	6	13	41	-28
9	OASO1985	4	9	0	2	0	7	7	23	-16
10	熊大理学部FC	2	9	0	0	2	7	7	19	-12

Cブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	JumboFC	22	8	7	1	0	24	6	18
2	FC100show	18	8	6	0	2	20	2	18
3	熊本市消防局	13	8	4	1	3	15	7	8
4	マグナム	13	8	4	1	3	12	12	0
5	シスケン	12	8	4	0	4	13	9	4
6	熊本市役所	11	8	3	2	3	10	7	3
7	熊大職員	11	8	3	2	3	14	16	-2
8	FCサクラ	3	8	1	0	7	11	27	-16
9	北熊本目サテライト	1	8	0	1	7	4	37	-33

2 部 A 順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	益城BW	27	9	9	0	0	34	6	28
2	BOAR熊本	17	9	5	2	2	26	15	11
3	日奈久体協	16	9	5	1	3	17	14	3
4	鏡クラブ	13	9	4	1	4	25	19	6
5	大阿蘇クラブ	13	9	4	1	4	19	14	5
6	プログレッシブ人吉	10	9	3	1	5	21	25	-4
7	託麻クラブ	10	9	3	1	5	14	26	-12
8	コスモス	9	9	2	3	4	17	26	-9
9	山鹿FC	7	9	2	1	6	17	26	-9
10	ランザ熊本	7	9	2	1	6	9	28	-19

Dブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	平田機工	16	8	5	1	2	12	7	5
2	菊陽キャロット	15	8	5	0	3	15	10	5
3	アンリミテッド	14	8	4	2	2	20	8	12
4	デスベラード	13	8	4	1	3	18	10	8
5	ミドルFC	13	8	4	1	3	11	9	2
6	熊本県庁	9	8	3	0	5	15	17	-2
7	Alma	6	8	2	0	6	6	16	-10
8	長嶺クラブ	19	8	6	1	1	15	13	2
9	ガンバ八景水谷	3	8	1	0	7	2	24	-22

2 部 B 順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	合志ペルナ	23	9	7	2	0	19	5	14
2	嘉島クラブ	19	9	6	1	2	20	6	14
3	小川クラブ	17	9	4	5	0	18	10	8
4	熊本FC	16	9	5	1	0	16	19	-3
5	八代フューチャーズ	12	9	3	3	3	17	13	4
6	TEL FC	11	9	3	2	4	17	19	-2
7	スティンガー熊本	10	9	3	1	5	11	11	0
8	IEC-FC	6	9	2	1	6	6	24	-18
9	北熊本自衛隊	3	9	1	2	6	8	16	-8
10	ワンステップ	3	9	1	2	6	8	17	-9

Eブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	泗水FC	22	8	7	1	0	42	4	2
2	矢部FC	19	8	6	1	1	29	5	12
3	肥後銀行	14	8	4	2	2	18	16	9
4	田迎3丁目	13	8	4	1	3	21	19	3
5	骨壺	11	8	3	2	3	16	11	2
6	鎮西倶楽部	6	8	2	0	6	13	30	4
7	アポロ	4	8	1	1	6	6	34	-4
8	EYE. 言葉	4	8	1	1	6	8	19	-8
9	クレゾール	10	8	3	1	4	11	26	-20

Aブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	オウンゴール	27	9	9	0	0	66	3	63
2	中島OB	22	9	7	1	1	23	7	16
3	鶴城キッカーズ	21	9	7	0	2	35	8	27
4	シャンパーニュ	18	9	6	0	3	23	14	9
5	スピリタス	14	9	4	2	3	27	13	14
6	砥用クラブ	10	9	3	1	5	18	40	-22
7	ドクターズユング	8	9	2	2	5	11	34	-23
8	焼き肉はじめ	5	9	1	2	6	15	24	-9
9	健軍クラブ	4	9	1	1	7	7	37	-30
10	サンデー	1	9	0	1	8	5	50	-45

Fブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	FC.Ants	19	8	6	2	0	33	11	22
2	F.S.S	16	8	6	1	1	34	7	27
3	熊本クラブ	15	8	5	1	2	33	14	19
4	FC.Gronder	14	8	5	1	2	19	12	7
5	AME-SOUL	10	8	3	2	3	13	18	-5
6	熊商OB	8	8	3	1	4	23	15	8
7	武蔵ヶ丘OB	7	8	3	0	5	28	18	10
8	学園大OB	3	8	1	0	7	9	52	-43
9	アトン	0	8	0	0	8	9	54	-45

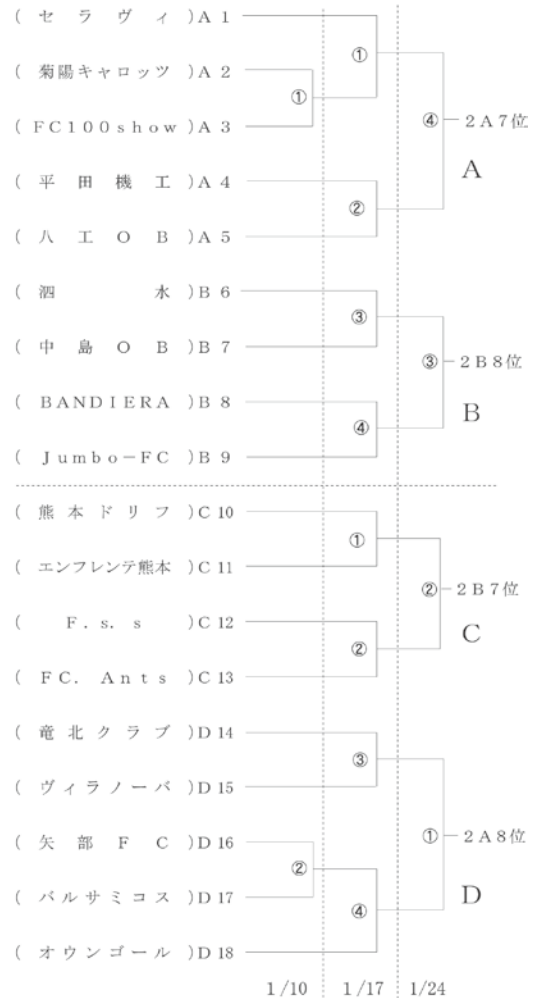
Bブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	セラヴィー	21	8	7	0	1	21	4	17
2	エンフレンテ熊本	18	8	6	0	2	19	6	13
3	HMFC	18	8	6	0	2	19	7	12
4	西通群	15	8	5	0	3	15	10	5
5	マスカトーレ	9	8	3	0	5	15	11	4
6	城南クラブ	7	8	2	1	5	9	15	-6
7	九電BW	7	8	2	1	5	5	19	-14
8	FCイーリス	6	8	2	0	6	8	17	-9
9	FC道楽	6	8	2	0	6	7	29	-22

Gブロック順位表

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	熊本ドリフ	24	8	8	0	0	21	5	16
2	BANDIERA	21	8	7	0	1	50	4	46
3	有明club	13	8	4	1	3	20	19	1
4	NOA	12	8	4	0	4	14	19	-5
5	T.F.M.B	10	8	3	1	4	6	21	-15
6	南九州カコーラ	9	8	3	0	5	12	13	-1
7	フェローズ	9	8	3	0	5	9	9	0
8	FC横島	6	8	2	0	6	8	24	-16
9	植木クラブ	2	8	0	2	6	3	29	-26

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	敗	得	失	差
1	教員クラブ	22	8	7	1	0	30	9	21
2	宇土クラブ	15	8	5	0	3	24	12	12
3	蹴友会2	13	8	4	1	3	21	22	-1
4	相互電工	12	8	3	3	2	23	17	6
5	学府紺友会	10	8	3	1	4	26	23	3
6	HCクラブ	9	8	3	0	5	17	29	-12
7	FC竜北	6	8	2	0	6	14	28	-14
8	エルタ	6	8	2	0	6	11	26	-15
9	ドンキー	12	8	4	0	4	19	19	0



マリーナ・モットー 喜島

試合会場：県運サッカー場

①2A8位 VS ABCD

コスモス

② 2 B 8 位 VS ABCD

LEC

③2A7位 VS ABCD

経度カラム

④ 2 B 2枚 VS A B C D

④ Z B 7 位 VS A B C D

スデインカー

Category 1 大学

県学生サッカーフェス開催 チャンピオンシップ代表も決定

第3回熊本県学生サッカーフェスティバルが、12月12日、13日に ASOVIGO グランドで県外から佐賀大学と日本文理大学（太分）が参加して



【学生サッカーフェスティバル】熊本大 vs 選抜の試合

開催された。

試合は 11 人制の大会で 45 分打ち切り形式で行われ、参加チームの交流とレベルアップを図った。

また、12月23日には、県チャンピオンシップ大会の学生代表チーム決定試合があびか会場で行われた。学園大、熊本大、崇城大、選抜（県学生リーグ選手）の4チームによるリーグ戦の結果、熊本大と選抜（県学生リーグ選手）が代表チームに決定した。

Topix

W杯キャンプ地へ立候補を 県協会が県、熊本市に要望

県サッカー協会は11月20日、県庁を訪れ、日本が招致を目指す2018、22年サッカーワールドカップ（W杯）の出場チームのキャンプ地に県が立候補することを求める要望書を村田信一副知事に手渡した。19日、同じ趣旨の要望書を熊本市にも提出した。

井会長は「公式戦開催と比べ、地元の経費負担は小さい。是非、立候補を」と要望。村田副知事は「お金の心配を掛けて歯がゆい思いだ。元気で夢がある熊本づくりのためにカンフル剤は必要。提案してもらい感謝している」と答えた。

同W杯には現在、日本のほか米国や英国、オーストラリアなどが立候補しており、10年12月

の国際サッカー連盟理事会で決まる。日本招致委員会は来年1月8日までに64カ所以上のキャンプ候補地を募っている。



ワールドカップキャンプ地へ立候補を求める要望書を熊本市に提出した井薫・県サッカー協会会長（右）

Category 5 女子

学童五輪 MELSA 熊本ボニータが優勝

「第35回熊日学童五輪女子サッカー大会」が、11月1日、3日に菊陽杉並木公園にて県内の9チームが出場し、初日の1日は予選リーグ戦が行われ、プエルタ熊本・熊本ユナイテッドエーマ・MELSA 熊本ボニータ・ルネサンス熊本が決勝トーナメントへ進出した。

決勝は、MELSA 熊本ボニータ対熊本ユナイテッドエーマとなり MELSA 熊本ボニータが前半2点、後半に5点の取り7対0で熊本ユナイテッドエーマを下し、2年ぶりの5度目の優勝で幕を閉じた。



小川 JSC など V なでしこ サッカー フェス



「なでしこサッカーフェスティバル（JFA レディース/ガールズサッカーフェスティバル2009）」が11月23日に熊本県民総合運動公園サッカー場にて開催された。

県内各地から108チームが参加した。試合は、それぞれの各部門に分かれリーグ戦を行った。

●優勝チーム

U-6 の部：小川 JSC ミニセレブ

U-9 の部：アッズリーノ熊本ガールズ

U-12 の部：プエルタ熊本 FCL チビ

U-15 の部：MELSA 熊本 FC 中2

U-18 の部&一般 A の部（30歳未満）：SPEC 2

一般 B の部（40歳未満）：マリモの会

一般 C の部（40歳以上）：矢部 FC スーパーリラックス



Category 2

高校

ルーテル選手権初勝利 帝京に3-1 全国高校 選手権1回戦

第88回全国高校サッカー選手権は12月30日、東京・国立競技場で開幕し、開会式に続いて1回戦1試合を行い、2年ぶり2度目出場の県代表のルーテルは戦後最多6度優勝の帝京（東京B）に3-1で快勝し、同選手権初勝利を挙げた。

ルーテルは前半32分にペナルティーエリア近くでこぼれ球を拾ったFW小牧成亘が先制ゴール。後半は帝京の攻勢を受け、16分に追い付かれたが、28分にFW山本大貴主将のループシュートで勝ち越し、終了間際に再び山本がミドルシュートを決めて突き放した。

ルーテル学院 $3 \frac{1 \text{ 前半 } 0}{2 \text{ 後半 } 1}$ 帝京 (東京B)

【評】ルーテルはFW山本の“技あり”の2ゴールで名門・帝京を撃破した。

1点リードで迎えた後半は同点にされてなお苦戦が続いたが、28分の山本の巧みなループシュ



前半32分、ルーテル学院・小牧（右）が先制ゴールを決める。国立競技場

トで勝ち越し、嫌な流れを断ち切った。終了間際には再びGKの頭上を越えるシュートでとどめを刺した。守備陣は鋭い出足でセカンドボールを拾い、FKからの失点以外はほぼ危なげなかった。緊張する開幕戦で存分に持ち味を出した。（熊日新聞から転載）

2回戦 富山一に快勝

全国高校サッカー選手権第3日の1月2日、川崎市の等々力陸上競技場での2回戦、ルーテル学院は富山一に2-0で快勝、3回戦に進んだ。ルーテルは前半、守勢に回ったが無失点で折り返し。後半5分、開幕試合で2得点したFW山本大貴主将が、右サイドからのクロスに頭で合わせて先制。さらに5分後、中盤のスルーパスに抜け出した山本が再びゴールネットを揺らした。

ルーテル学院 $2 \frac{0 \text{ 前半 } 0}{2 \text{ 後半 } 0}$ 富山一 (富山)

【評】ルーテルは前半の我慢の守備が、後半の2得点につながった。前半に放ったシュートは2本だけ。富山一に個人技で何度も最終ラインを破られたが、DF陣が体を張って懸命の防御。ボランチもうまくカバリングし、ゴールを死守した。後半は運動量が増え、攻守に本来のリズムを取り戻し、試合の流れを引き寄せた。FW山本はシュート3本で2得点。帝京戦に続き、決定力の高さが際立った。



後半5分、ルーテル学院・山本が先制ゴールを決める。等々力

3回戦 堅守で8強 日章学園を完封で下す

全国高校選手権第4日の3日、川崎市の等々力陸上競技場で3回戦に臨んだルーテル学院は1-0で日章学園（宮崎）を下し、初の準々決勝に進んだ。県勢としては昨年の大津に続き2大会連続の8強入り。

ルーテルは風下の前半にボールを支配されたが粘り強い守備で対応。同39分にペナルティーエリア内でMF小牧成亘がファウルを受けてPKを獲得。FW山本大貴主将が冷静に左隅に流し込み先制した。山本は3試合連続の大会5ゴール目。後半もGK市原拓巳を中心に堅く守り2試合連続の無失点勝利を挙げた。

【評】ルーテルは持ち味の堅守を発揮。PKで挙げた貴重な1点を守り抜き九州勢対決を制した。

風下の前半は無理せずゴール前を固め、両サイドのMF、DF陣の1対1を生かし、相手の攻勢を耐えた。運動量が落ちてきた後半も最後まで守備のバランスは崩れなかった。チャンスは少なかったものの、FW伊藤のボールキープやMF小牧のドリブルなど果敢な仕掛けから決勝のPKをもぎとった。（熊日新聞から転載）

ルーテル学院 $1 \frac{1 \text{ 前半 } 0}{0 \text{ 後半 } 0}$ 日章学園 (宮崎)

郡市協会

菊池郡市協会 訪問会議が開催 「協働」での活性化めざす

11月20日、菊陽町において、(社)熊本県サッカー協会菊池郡市協会訪問会議が開催された。この訪問会議、県サッカー協会が3年前から実施している。各地域協会に県サッカー協会の方から出向き、各種事業の趣旨をご理解いただき、「協働」によって熊本県サッカーをさらに活性化させることを目的に実施している。

この日は、県協会からは井会長をはじめ、4名、菊池郡市協会からは大島会長をはじめ8名の参加があり、活発な意見交換がなされた。

井会長からは、競技力向上について、北岡専務理事からは、「県重点目標」の具現化等についての説明が行われた。菊池郡市協会からは、ロアッソ支援について県協会の今後の対応等についての質問が行われた。

会議の後は懇親会も行われ、和気あいあいの雰囲気の中、サッカー談議に花が咲いていた。この訪問会議、県サッカー協会としては今後も継続をし、各地域協会の皆さんの意見を取り入れながら、県サッカーのさらなる発展を図っていきたいと考えている。



リレートーク・八代市

八代市サッカー協会は昭和55年に設立し、平成14年度新たに『サッカー人 子供の笑顔 大人の努め』をスローガンに掲げて、新たに協会内規を定め加盟された団体の負担金と、会長以下の役員も負担金を納め、協会の健全な運営を保つ為に、今後はNPO法人化も視野に入れ、誇りを持って協会の自主運営にあたっています。

また、熊本県サッカー協会が掲げる"基本構想"の基に、競技力向上・人材育成・生涯スポーツの促進と地域との連携・環境整備などを図り、熊

本県下各年代のプレーヤーはもとより、九州・全国各地からの様々な種目アスリートが気持ち良くプレーし、楽しんで頂けるよう場所の整備・確保に向け、市行政及び地域団体と連携し一体化した取り組みを、今後とも実行して参ります。

【Welcome to Yatsushiro!!】

平成21年12月11日

八代市サッカー協会

理事長：北園武広

Senior シニア

熊本惜しくも準V —第2回九州シニアサッカーフェス

第2回九州シニア(O-50)サッカーフェスティバルが12月5、6日の2日間、大分・別府市実相寺サッカー場で開かれた。熊本は決勝で鹿児島に惜敗し準優勝だった。九州サッカー協会主催。大分県サッカー協会の主管。

6チームが参加しており、予選は3チームによるリーグ戦。A組で中津(大分)、宮崎と対戦し

た熊本は中津に1-0、宮崎に2-0で決勝戦に進出。一方のB組は鹿児島が佐賀に3-0、別府に0-0で1位通過した。決勝は接戦となり、熊本が鹿児島に1点を奪われ0-1で惜しくも優勝を逃した。

3位は決定戦で中津を破った別府。5位は宮崎、6位は佐賀だった。



この広報紙は、

スポーツ振興くじ助成金を受けて

実施しています

Category

3

中学

リーグ戦“文化”づくり2年目

熊本県サッカーリーグU-15は、2008年度に中学生のリーグ戦として始まり、試行錯誤しながらリーグ戦“文化”を作り上げるため開催している。

1部リーグは9チーム、2部リーグは9チームの2グループ、3部リーグは荒尾・玉名、山鹿・鹿本、菊池・合志・阿蘇、熊本市、上益城・宇城・天草、八代都市、人吉・球磨・水俣の7各地区に分かれて行っている。リーグは8月から12月にかけて前期リーグを行い、2010年4月から6月まで後期リーグが始まる。現在、3部リーグと2部リーグの入れ替え戦へ出場するチームの代表決定戦を行っており、入れ替え戦は3月に行われる。

リーグの出場チームは次のとおり。

▼1部前期 1位ロアッソ、2位ユナイテッド、3位バレイア、4位アルバランシア、5位FCKマリーゴールド、6位ブレイズ、7位阿蘇北中、8位小川中、9位鶴城中

▼2部前期Aグループ 1位フォルテ、2位八代一中、3位合志中、4位エスパルダ、5位エスペランサ、6位東野中、7位荒尾一中、8位多良木中、9位住吉中

▼2部前期Bグループ 1位玉名中、2位ルーテル中、3位アリアンサ、4位出水中、5位錦ヶ丘中、6位長嶺中、7位YMCA、8位ヴィラノーバ、9位嘉島中

Category

4

小学

学童五輪 ソレッソ熊本が初優勝

第35回熊日学童五輪サッカー（県サッカー協会・熊日主催）は11月22日の最終日、県民総合運動公園陸上競技場で男子チャンピオンシップの部決勝を行い、「ソレッソ熊本ヴィットーリア」が3-1で「山鹿FCジュニア」を下し初の優勝を飾った。

大会は男子チャンピオンシップの部128チーム、フレンドシップの部75チームが出場。11月7日から県内30会場で熱戦が繰り広げられた。一方、女子は11月1、3日に菊陽町の菊陽杉並木公園で行われた（＝「女子」の欄で紹介）。

「ソレッソ熊本ヴィットーリア」は前半5分に先制を許したが、同12分、右CKをMF坂本光陽が頭で決めて同点。6分後にはゴール前の混戦からFW高木政哉が押し込んで勝ち越した。後半は山鹿FCジュニアの猛反撃を受けたが、同17分にFW久恒佑太がダメ押しの3点目をたたきこんだ。3位決定戦は、「アムソウル01」が「リベルタ北熊本」を3-2で下した。（熊日新聞から転載）

＝上位の結果＝

◆チャンピオンシップ

▼3位決定戦

アムソウル01 3 $\frac{1 \text{ 前}}{2 \text{ 後}}$ 2 リベルタ北熊本

▼決勝

ソレッソ熊本ヴィットーリア 3 $\frac{2 \text{ 前}}{1 \text{ 後}}$ 1 山鹿FCジュニア



審判資格忘れず更新！

講習会を受講しないと年度末で失効します

1月～3月は、更新講習会が開催されます。今年度4級新規取得された方は、「更新手続き（翌年度の登録料納入）」をお忘れなく！

公認審判員制度

- ・審判の資格は、4級からスタートして1級まで
- ・4月から翌年3月までの最大1年間有効
- ・「更新手続き（翌年度の登録料納入）」と「更新講習会の受講」の2つを満たせば、翌年度も活動できる。
- ・4級新規で取得した年度は、その年度の更新講習会の受講は不要。ただし、年度末までに「更新手続き（翌年度の登録料納入）」を行わなければ失効。
- ・更新講習会申込時には、翌年度の登録料を納付するので、「更新手続き（翌年度の登録料納入）」は不要。
- ・講習会受講申込・登録料納入の手続きは、ウェブ上（Kickoff）で行う。（<http://www.jfa.jp/>）
- ・4級更新講習会は、ウェブ上でも受講できる。

Q & A

1) ウェブのログインパスワードがわかりません。
→平日午前10時～午後6時の間に、県協会事務局まで電話でお問い合わせください。

2) 今年度更新講習会を受講しました。資格はいつまで有効ですか？

→来年度末（2011年3月末）まで

JFA Web 登録サイト「Kickoff」

<http://www.jfa.jp/>

お問い合わせ先

（社）熊本県サッカー協会事務局

Tel: 096-334-5565

（平日午前10時～午後6時）

障害者

聴覚障害乗り越え「公認D級」取得 全国初 嘉島町の福島さん

生まれつき耳が不自由な嘉島町の会社員福島太さん（30）が、日本サッカー協会の公認D級ライセンスを取得した。小学生らの指導にあたる資格で、県サッカー協会によると聴覚障害者の取得は全国で初めて。

福島さんは、熊本ろう学校の子どもたちとそのきょうだいが参加するサッカーチーム「FC ウィナレッズジュニア」の監督兼コーチ。小学生を中心とした15人を対象に週1回、手話を交えながら指導している。

小さいころから、近所の子どもたちと一緒に草サッカーにのめり込んだ。「聞こえる、聞こえないにかかわらず、一つのボールを追うスポーツ。身ぶりやアイコンタクトでコミュニケーションは取れる」と福島さん。

ライセンスの存在を知り「指導力を向上させよう」と、10月に受験。同協会の講義や筆記試験



があり、手話通訳者2人の協力もあって合格した。

福島さんは「資格を取得し自信を持って指導できるようになった。指導方法の幅も広がり、教えた子どもたちが自分を見る目も変わってきた」と言う。

今後さらに上位のライセンス取得を目指しており「一つずつステップアップしていきたい」と笑顔を見せた。（熊日新聞から転載）

審判技術

●…2級審判員教科研修会及びインストラクター合同研修会 審判委員会主催による研修会が、11月29日に大津町運動公園球技場会議室で行なわれた。山城審判委員長が審判とインストラクターに講義を行い、その後審判員は代表者のプレゼンテーションでそれぞれの意見の交換を行った。インストラクターも評価基準についての研修を行なった。研修会は第6回トレセンC研修会も兼ねており、2級を目指す3級審判員が県リーグ1部の試合に合わせて実技研修を行なった。

●…3級審判インストラクター認定講習会 11月21日に熊本農業高校研修室で日本サッカー協会1級審判インストラクターの大庭弘毅氏を迎えて、3級審判インストラクター認定講習会が開催

された。県内からは現役2級審判員を中心に8名が受講し、プレゼンテーションや筆記試験の結果、全員が合格した。審判委員会では3級、4級審判員からの育成を課題としており、今回の合格者を含めて21人となったことでより細かい指導体制と検討していく。

【セミナー情報訂正】2009年11月1日発行の夏秋号において紹介したレフェリーセミナー及びインストラクターセミナーで、開催週に下記のとおり誤りがありましたので訂正します。

レフェリーセミナー

毎月第二木曜日 ⇒ 毎月第三木曜日

インストラクターセミナー

毎月第三木曜日 ⇒ 毎月第二木曜日

キッズプロジェクト



3回目のユニクロサッカーキッズ 元日本代表の名良橋さんも参加

12月12日（日）、KKWINGで「ユニクロサッカーキッズ！in KKWING」が開催された。

今年で3回目となるこの大会には、午前の部60チーム・午後の部27チーム、約1,100名のキッズが参加し、8人制ゲームやキッズアトラクションを楽しんだ。

当日は、JFAアンバサダー元日本代表の名良橋晃さんや、ロアッソ君・アンパンマン・メロンパンナちゃんに加え、熊本のヒーロー急流戦隊JINクマレンジャー、午後の部からはロアッソ熊本の選手も応援にかけつけ、こどもたちと記念撮影や



キッズ プロジェクト

収穫多かった県内7施設開催 —「キッズ交流会」報告

21年度は、10月から熊本県7地域で「キッズ交流会」を実施しました。同交流会は、過去に数回実施してきましたが、これまでは1つの施設(グラウンド)を利用するものばかりで、今回は「更なるチャレンジ」で県内7施設での実施を試みました。結果的には収穫の多いイベントとなりました。

事前会議の際から、県全域に及ぶプロジェクトの大変さは認識していましたが、1つひとつ施設ごとに担当を決め、役割を分担して行うこととし、日程の決定、施設の申請等を何とかスムーズに進めました。しかし、一番苦労したのは受講者への呼びかけです。開催までの準備期間が短く、



PRする時間が足りなかったことは言うまでもありません。協力団体・協賛団体をしっかりと固めることが出来なかったのも痛手となりました。

それでも現場でのトレーニング等は、担当のコーチ陣に内容は任せたとこ、各コースとも、いろいろなアイデアでトレーニングメニューを立案。受講者が楽しく続けていけるトレーニングとなりました。

この交流会を通して、芝生で遊ぶことや、外で遊ぶ楽しむきっかけ作りができ、受講者の子どもたちはもとより、保護者の方々にも喜ばれるものとなったことを実感しました。今回、7施設を利用したことで、県内全域でもっと幅広く実施できることが分かりました。今後に向けては、今回の反省点となった「募集」「協力団体、協賛団体」をクリアできれば、大きなプロジェクトであっても乗り越えていけることを確信できました。

7施設開催を通じて、この交流会事業の意義と継続することの重要性を感じた一年でした。これを元に来年の計画を立てていきたいと思っています。(光永誠司)

増える希望園に「実り」を予感 —4年目の巡回指導を終えて

巡回指導を始めて約4年。年々、巡回指導する希望園が増え続け、われわれが築き上げてきたものが、ようやく実りつつある予感が致します。一方で、どんどん進化するボール遊びや動きづくりを学ぶことの重要性をますます感じており、今後の活動に生かしていきたいと考えております。

巡回指導では、われわれは各園のゲストティーチャー的存在となり、子ども達や先生達ともに楽しい時間を過ごしているのは間違いありません。子供たちにとっては、外遊びやボール遊びを通して身体の健康や脳も刺激され集中力の向上にもつながっていると思われます。

現在、巡回指導は年間100件を超えるまでに

なりました。ここまでになったのも、多くの先生方の理解と協力によるものだと思います。今後は、さらに研究を重ね、質の高い指導を実践していきたいと思っています。この巡回が、幼稚園、保育園にとって不可欠なものになっていくよう努力していきます。(光永誠司)



KFA NEWS 2010

Futsal フットサル

バーモントカップ ソレッソ熊本フォルツァが全国へ

11月3日、「バーモントカップ第19回全日本少年フットサル大会熊本県大会」がウイングまっばせで開催され、ソレッソ熊本フォルツァが初優勝を果たした。

決勝トーナメントには10月12日に開催された「Yes! RKK SPORTS」に参加した25チームで予選リーグを行い、各予選リーグを勝ち抜い

た8チームが出場した。今年の決勝トーナメントは、各チームともレベルアップしており、僅差のゲームが多く、見ている観客を沸かせた。

今大会で優勝したソレッソ熊本フォルツァは、2010年1月4日(月)から東京駒沢体育館で開催される全国大会に熊本県代表として出場する。

JFA ファミリーフットサル 熊本初のスペシャルステージ(11月)

11月28日、宇城市の巻フットサルセンター・カベッサ熊本と熊本県フットボールセンター(宇城市立ふれあいスポーツセンター)にてJFAファミリーフットサルフェスティバル2009with KIRIN 熊本スペシャルステージが開催された。熊本では初めてとなるスペシャルステージには24チーム約300名が参加して行われ、午前中は各グループに分かれ試合を楽しみ、午後からは各種イベントを楽しんだ。

午後のイベントでは、九州フットサルリーグで

活躍をしている「エンフレンテ熊本」対「FUKUEI JAPAN」がエキシビジョンマッチを披露し、フットサル特有のテクニックで観客を魅了した。元フットサル日本代表、現JFAアンバサダーの相根澄氏によるフットサルクリニックが開催され、参加した小学生や中学生は、シュートの方法を教

えてもらったり、コーチ達とのゲームを楽しんだ。宇城市商工会からはフリーマーケットや昼食販売(うどん、焼きそば、肉めし等)があり、参加者だけでなく応援に来た人たちも楽しんだ。

News & Information

■第2回タマホームカップ争奪熊本県チャンピオンシップサッカー大会(2月21日～3月14日)。会場は益城町運動公園他。

■第35回協会会長旗争奪熊本県総合サッカー選手権大会(2月14日～3月28日)。会場は熊本県民総合運動公園サッカー場他。

■平成21年度県下高校サッカー大会(1月9日～1月31日)。会場は県民総合運動公園他。

■JFA プレミアカップサッカー大会熊本県中学校予選(1月16日、17日)。クラブ予選(1月23日～31日)。

■第38回熊本県教員蹴友会会長旗争奪熊本県新人サッカー大会(1月23日～31日)。会場は小川町・竜北町。

■JFA プレミアカップサッカー大会熊本県大会(2月13日～21日)。

■第36回熊本県中学校教職員サッカー大会(3月7日)。会場は熊本市内中学校。

————— 日程、会場等は変更になる場合があります。 —————

■第31回熊本県少年サッカー新人大会(2月13日～20日)。

■第41回熊本県少年サッカー選手権大会(2月6日～11日)。

■第41回九州ジュニア(U-12)サッカー大会(3月13日、14日)。会場は大津町運動公園。

■第13回塚野杯地域選抜少年サッカー大会・5年生の部(3月6日、7日)。

■第16回さわやか女子ジュニアサッカー大会(1月30日、31日)。会場は大津町運動公園。

■第28回熊本県女子サッカー総合選手権大会(2月13日～2月28日)。会場は益城町運動公園、菊陽町杉並木公園。

■トリムカップ(1月16日、17日)。会場は熊本市総合体育館。

■JFAファミリーフットサルフェスティバル2009with KIRIN 熊本。1月11日、会場はフットサルパーク熊本。2月14日、会場はスキルアップフットサルパーク。

名誉会長	荒木時彌		
会長	井 薫		
名誉副会長	緒方健司		
副会長	藤野健一	副会長	遠山和美
副会長	河野等	副会長	上野住江
特別顧問	宮嶋昭二		
顧問	倉重剛	顧問	主海偉佐雄
顧問	富田豊喜	顧問	緒方司朗
顧問	前田浩文	顧問	山木徹
顧問	永井隆一		
専務理事	北岡長生	常務理事	松崎正孝(1種委員長)
常務理事	今田周作(事務局・広報委員長)	常務理事	河田信之(JFAアカデミー熊本宇城担当)
常務理事	藤山直秀(財務委員長)		

理事 堀行徳(総務委員長)、理事 山城大(審判委員長)、理事 小野龍男(技術委員長)、理事 河野忍(強化委員長)、理事 藤家澄夫(規律・フェアプレー委員長)、理事 満田和浩(事業委員長)、理事 高野定(スポーツ医科学委員長)、理事 印南静男(1種委員会社会人部会)、理事 野田秋夫(1種委員会学生部会)、理事 瀧田邦彦(1種委員会学生部会)、理事 佐藤良広(2種委員長)、理事 池田政秀(3種委員長)、理事 原弘明(3種委員会)、理事 荘田雄二(4種委員長)、理事 長坂雅雄(4種委員会)、理事 荒川光夫(女子委員長)、理事 山本武道(シニア委員長)、理事 岩本芳久(フットサル委員長)、理事 宮本和史(都市協会担当)、理事 武田昭二(キッズプロジェクトリーダー)、監事 緒方史郎、監事 中山重臣



2010年 1月1日発行

社団法人 熊本県サッカー協会だより 第71号
発行者

社団法人 熊本県サッカー協会

広報委員会 委員長・今田周作

事務局

〒860-0831 熊本市八王寺町9-60

096-334-5565 平日午前9時～午後6時

<http://kumamoto-fa.com/>